

令和6年度 いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーⅠ・全体会

特別な支援を必要とする子どもたちと いわき地区の支援体制について

令和6年7月30日（火）

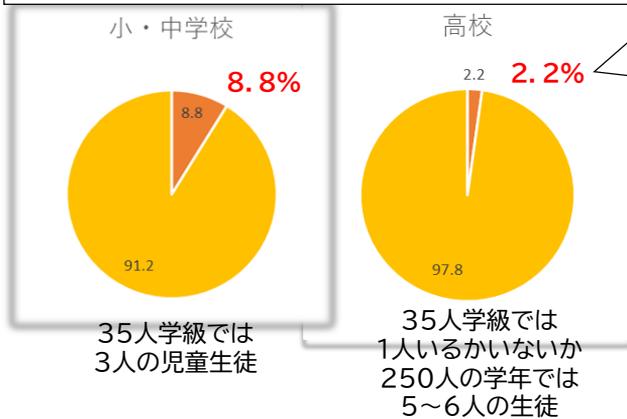
いわき教育事務所 学校教育課
指導主事 加藤良一（特別支援担当）

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について

(令和4年12月 文科省)

学習面又は行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合

※専門家による判断や医師による診断によるものではなく、
学級担任等が回答したもの
ただし、高校は公立全日制または定時制高校について



この2.2%の生徒について

授業内に個別の配慮をしているか

80.7%が配慮されていない
80.7

19.3

校内支援委員会で支援が必要と判断されたか

79%が判断されていない
79

21

第7次福島県総合教育計画

【施策3】 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる。

【基本的方向性】

誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちが、可能性や個性を伸ばすことができるよう、子どもたちの状況に応じた教育機会の提供や支援を行うことで、多様性を力に変える土壌をつくります。

【主な取組】

地域で共に学び、共に生きる共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実



ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業

【小事業】地域支援体制整備事業

「地域支援センター(相談窓口)」や「特別支援教育アドバイザー(10名)」等により、地域や学校等のニーズや、障がい種に応じた相談の充実や関係機関との連携強化を図る。

4

ご本人・ご家族への支援手続きの相談、関係機関への支援のつなぎ等に関して **生涯をとおして相談はこちらへ**

あなたのお住まいの**各地区の保健福祉センター**

|| **いわき障がい者相談支援センター**



まずは在籍している「園・学校へ」ご相談ください

障がい福祉サービスに関して
いわき市障がい福祉課

福祉機関等の連携に関して
いわき基幹相談支援センター

ライフステージ①

幼稚園等



まずは担任
園長等へ相談を

サポート

子育てに関して

おやCoCo
保健師、子育てカウンセラー、家庭相談員、
ケアマネ、民生員 など

公立幼稚園、保育所
統合保育等に関して
いわき市こども支援課

特性に応じた専門相談に関して
いわき市こどもみらい部
「子育てサポートセンター」

ライフステージ②

小学校



まずは担任
特別支援コーディネーター等へ相談を

サポート

子育て・発達障がい・不登校等に関して
いわき市教育委員会・総合教育センター
「教育支援室」22-3716

すこやか教育相談TEL 23-7261 (電話相談)
・いじめ・子育て等
子ども健康教育相談TEL 22-3709 (面接相談)
・発達障がい・不登校等

幼小中高をサポート

ライフステージ③

高等学校



まずは担任
特別支援コーディネーター等へ相談を

サポート

在学中から卒後の「就労」に関して
お仕事サポートセンター「ココカラ」
38-4533

就労に向けた支援に関して
いわき地域若者サポートステーション
障がい者雇用による就労について
いわき障害者就業・生活支援センター

体制作り等をサポート

市内特別支援学校「地域支援センター」福島県教育委員会いわき教育事務所

いわき教育事務所作成

本人・保護者が安心して相談できる
学校のために、関係支援機関でサポート

ライフステージ①

幼稚園等



まずは担任
園長等へ相談を

ライフステージ②

小学校



まずは担任
特別支援コーディネーター等へ相談を

ライフステージ③

高等学校



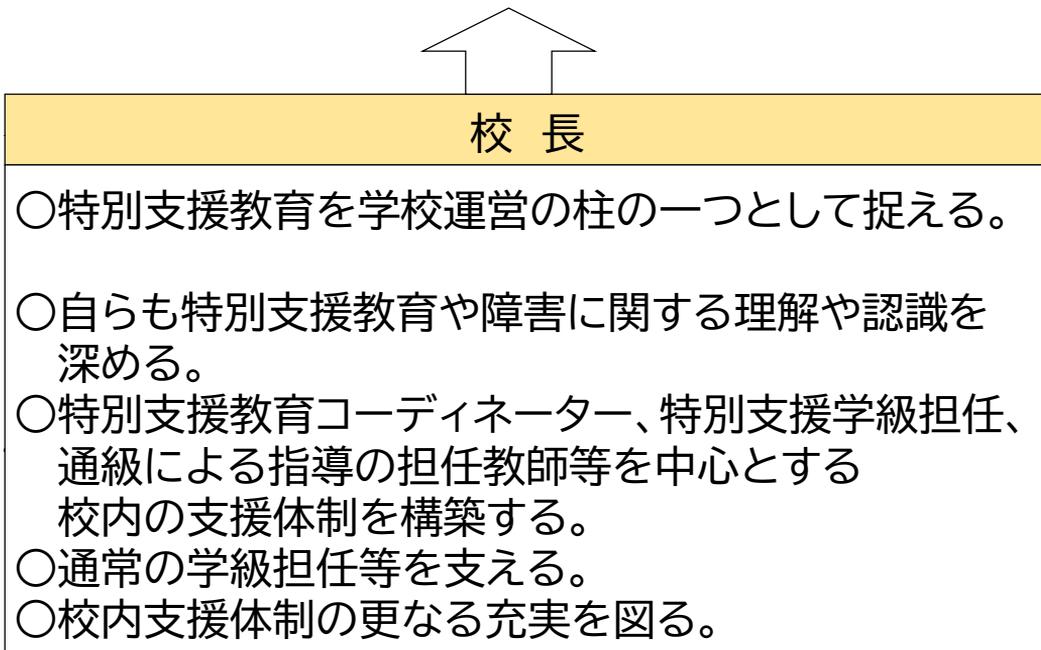
まずは担任
特別支援コーディネーター等へ相談を

サポート

相談支援・研修支援などで支える

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について
(通知)

令和5年3月13日 文科省

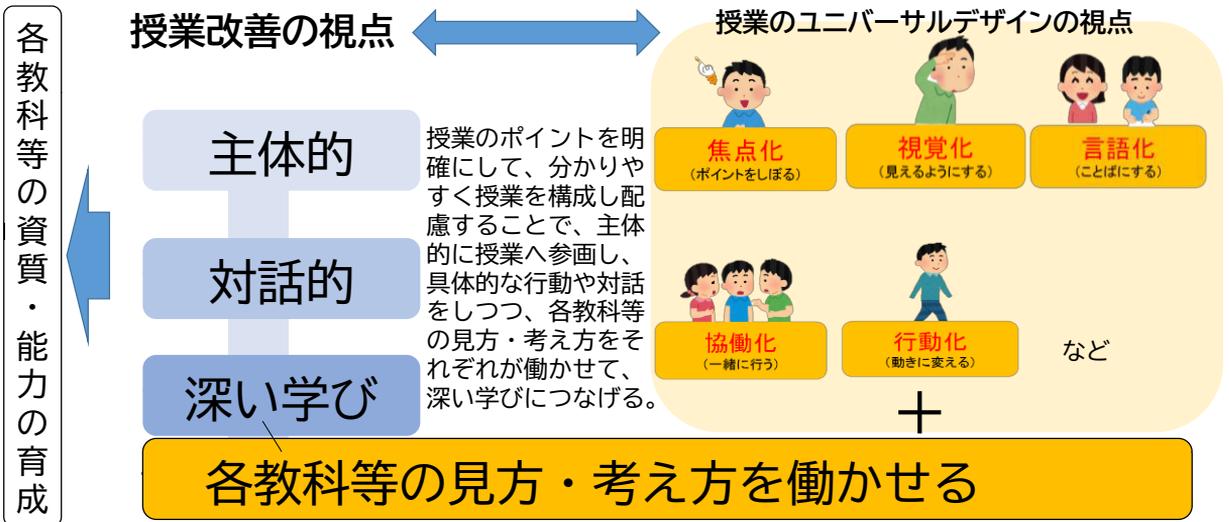


小中学校における**障害のある児童生徒**の学びの充実

「**通常の学級**においては、**ユニバーサルデザイン**や**合理的配慮**を前提とする**学級経営・授業づくり**を引き続き進めていく必要がある。」

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
令和3年 文科省 中央教育審議会

通常学級（小中高）での学びと
特別支援教育の連動



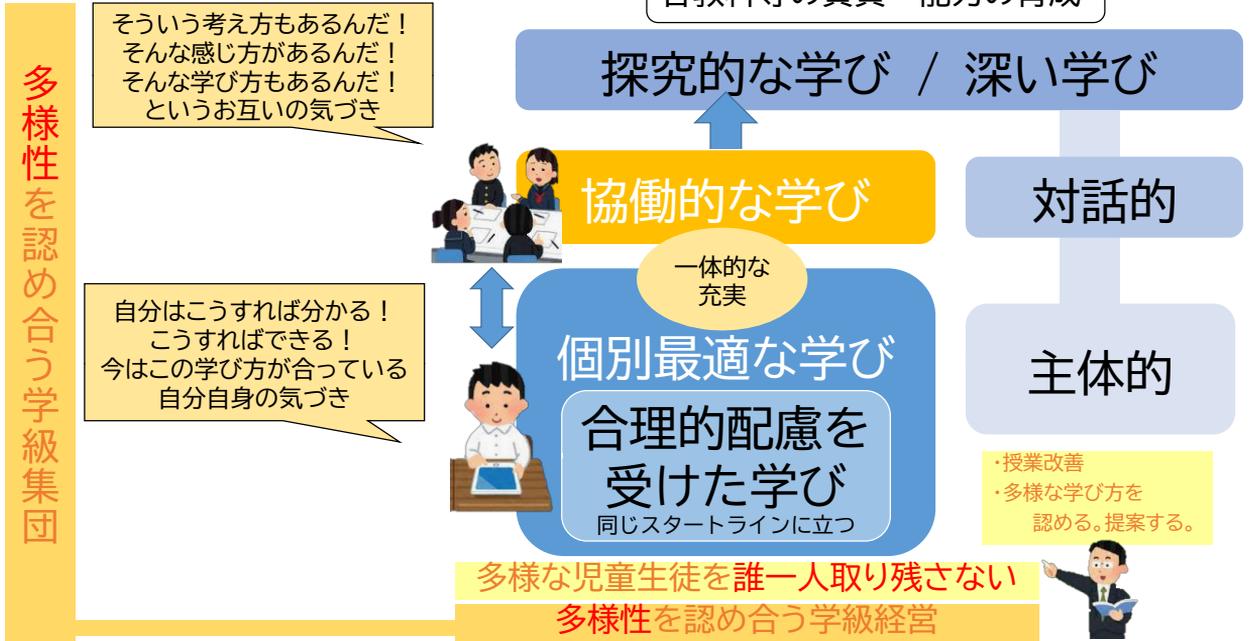
「授業のUDを指導に取り入れている教員の方が『主体的・対話的で深い学び』の実現度が高いという結果」 京極（2018）

参考：「主体的・対話的で深い学び」の実現に対する授業のUD化」の有効性と課題 京極澄子（2018）

学習指導(授業のユニバーサルデザイン)の視点から



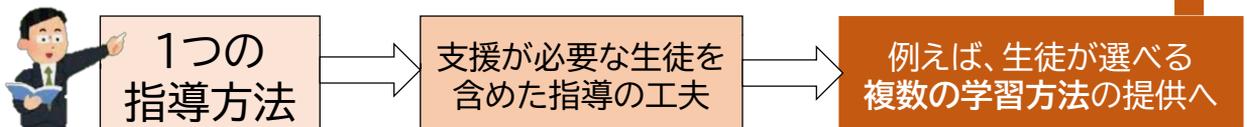
個別最適な学びと合理的配慮



自分に合った「学び方」を学ぶ



多様な「学び方」を提供する



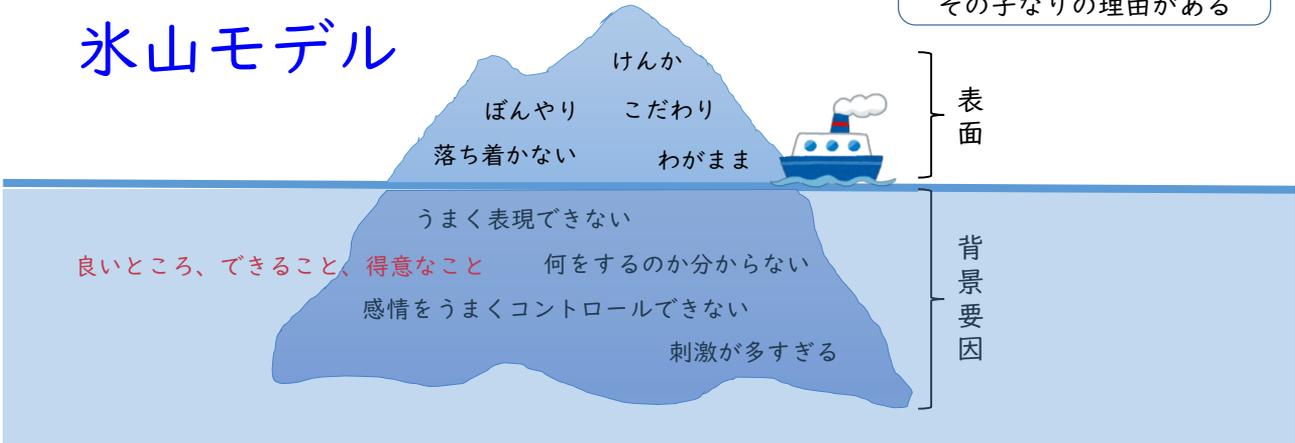
教育的ニーズの捉え方

特性や行動の背景・要因を考える

水面下にある困難さ等の理解が必要

子どもの言葉や行動の一つ一つには、その子なりの理由がある

冰山モデル



『 困った子どもではなく、困っている子ども 』

教育的ニーズの整理

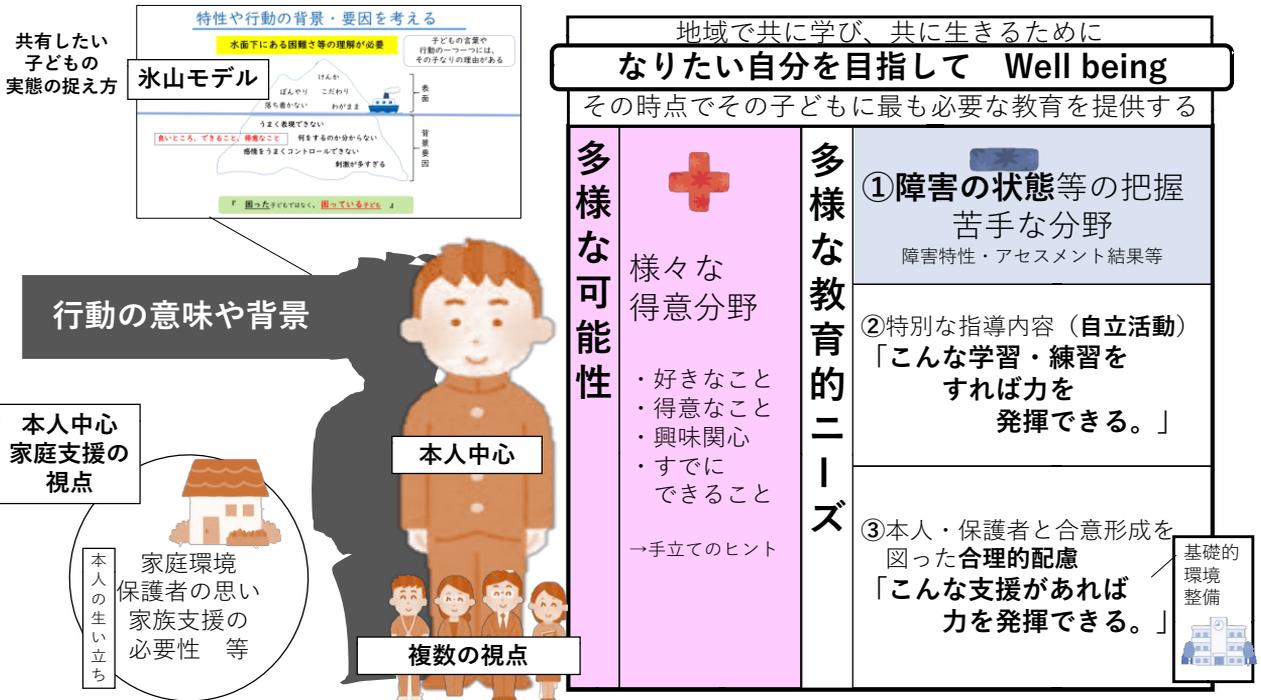
教育的ニーズとは、子供一人一人の障害の状態や特性及び心身の発達段階等を把握して、具体的にどのような特別な指導内容や教育上の合理的配慮を含む支援の内容が必要とされるかということを検討することで整理されるものである。

教育的ニーズを整理するために

その時点でその子供に最も必要な教育を提供することが重要

- ①障害の状態等
- ②特別な指導内容
- ③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容

令和3年6月 文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引」より



バランス
良く



なりたい自分を目指して Well being		
多様な可能性	 様々な得意分野	多様な教育的ニーズ
		①障害の状態等の把握 苦手な分野 <small>障害特性・アセスメント結果等</small>
		②特別な指導内容（自立活動） 「こんな学習・練習をすれば力を発揮できる。」
		③本人・保護者と合意形成を 図った合理的配慮 「こんな支援があれば力を発揮できる。」

※そもそも▲▲という行動をする理由や背景は何か？

④○○○できるようになった、○○○が分かるようになった。

①▲▲という困難な状況、困り感を持っているが

共有したい子どもの実際の捉え方

特性や行動の背景・要因を考える

氷山モデル

その時点でその子どもに最も必要な教育を捉える

なりたい自分を目指して

多様な可能性	 様々な得意分野 ・好きなこと ・得意なこと ・興味関心 ・すでにできること 一手立てのヒント	多様な教育的ニーズ
		①障害の状態等の把握 苦手な分野
		②特別な指導内容（自立活動） 「こんな学習・練習をすれば力を発揮できる。」
		③本人・保護者と合意形成を 図った合理的配慮 「こんな支援があれば力を発揮できる。」

行動の意味や背景

本人中心 家庭支援の視点

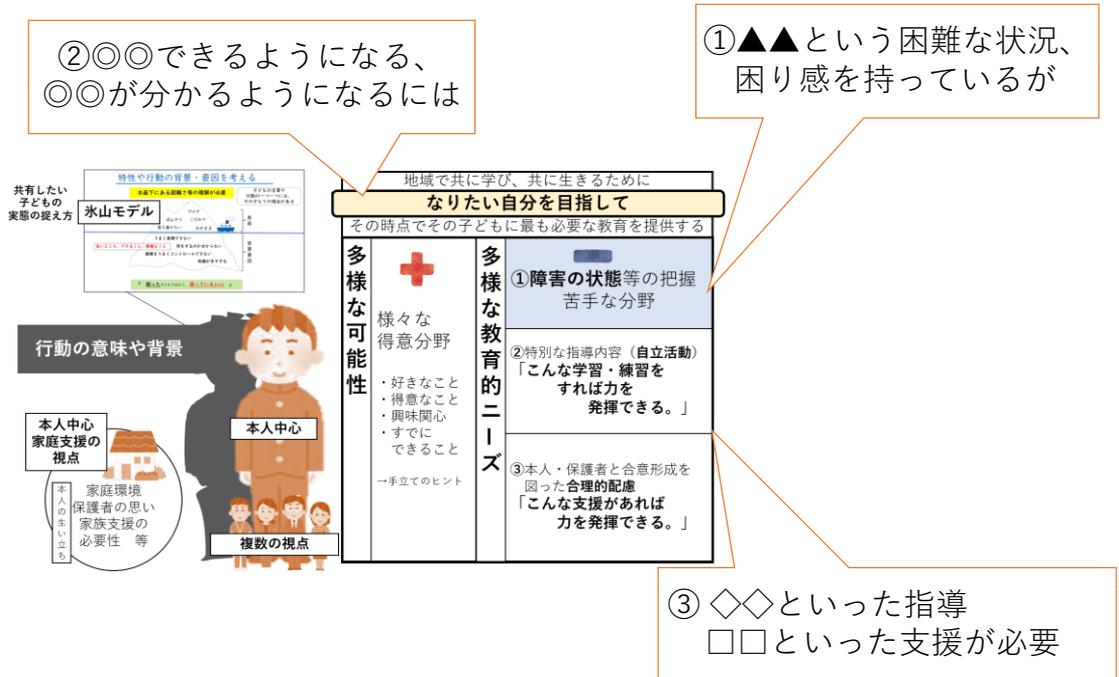
本人中心

本人の生い立ち

家庭環境
保護者の思い
家族支援の必要性 等

②○○○が好き・得意・すでにできていることを活かして

③◇◇といった指導 □□といった支援を行うことで



教育的ニーズの視点からの実態の整理と 指導・支援の「評価の基本形」

Aくんの**教育的ニーズ**は・・・

「▲▲で困ることの多いAくんが、○○できる・分かるには
□□といった支援と◇◇といった指導が必要」

→この内容を「引き継ぐ」、
引き継がれた側が役立つ内容か検証する。



本人へ 共通して伝えたいこと(言葉がけ・問いかけ)

なりたい自分を目指して



あなた(本人)はどう思う？
【本人中心】

あなたはどなりたい？
【将来に向けて・目指す姿】

そうだね！それでいいんだよ！
【本人の自信、当たり前なこと、すでにできること】

こうするとできるね！
/できたね！どうやったら
できたかおしえて？
【支援・手立て、本人の理解・言語化】【□□という学び方】

個別の教育支援計画や個別の指導計画で共有し、引継ぎたいこと

<特別支援での「評価」記載の基本形>

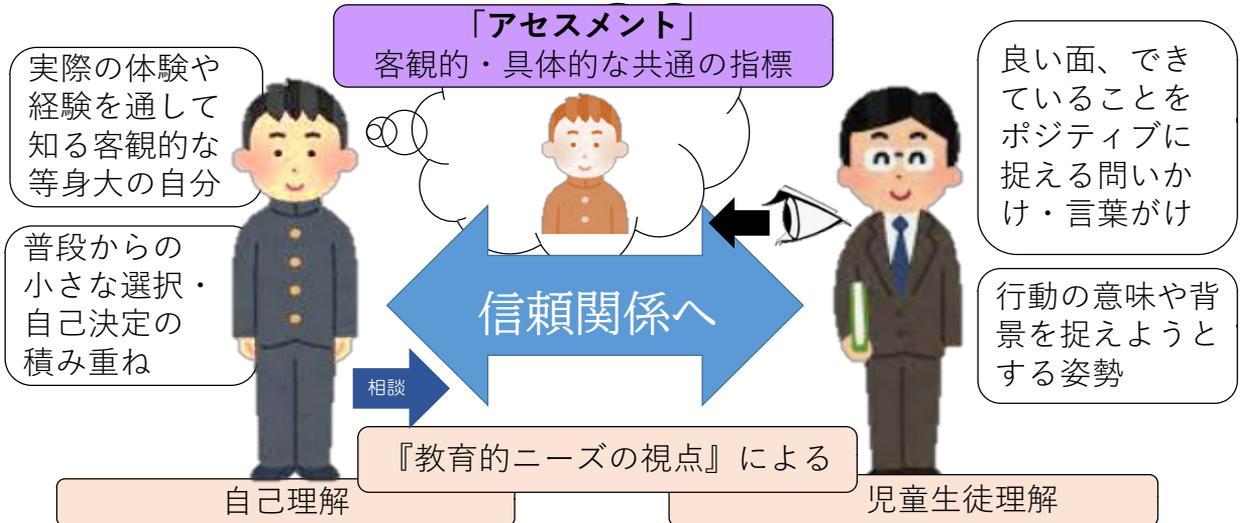
「□□することで、〇〇できるようになった。」

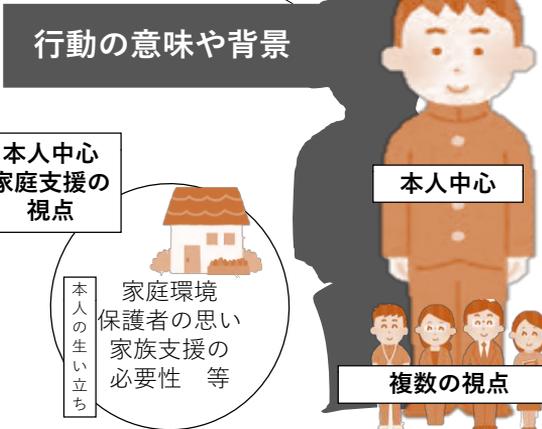
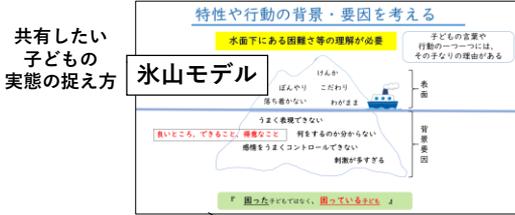
支援・指導の手立て → 行動の変化・成長

〇〇できるには、
□□という支援が必要

有効・必要な
支援・指導

共通する『教育的ニーズの視点』による 「本人の自己理解」と「支援者の子ども理解」





地域で共に学び、共に生きるために

なりたい自分を目指して Well being

その時点でその子どもに最も必要な教育を提供する

<p>多様な可能性</p> <p>+</p> <p>様々な得意分野</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなこと 得意なこと 興味関心 すでにできること <p>→手立てのヒント</p>	<p>多様な教育的ニーズ</p> <p>①障害の状態等の把握 苦手な分野 障害特性・アセスメント結果等</p>
	<p>②特別な指導内容（自立活動） 「こんな学習・練習をすれば力を発揮できる。」</p>
	<p>③本人・保護者と合意形成を図った合理的配慮 「こんな支援があれば力を発揮できる。」</p> <p>基礎的環境整備</p>



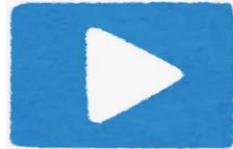
みんなといっしょにまなぶ・せいかつするため

なりたいじぶんをめざして

<p>じぶんができてきそうなこと</p> <p>+</p> <p>すきなこと とくいなこと</p> <p>いまできて いること</p> <p>じぶんの つよみ</p>	<p>じぶんにひつようなこと</p> <p>①いやなこと にがてなこと じぶんはどんなタイプ？</p>
	<p>②こんな「べんきょう」「れんしゅう」「けいけん」を するとできそう・わかりそう</p> <p>『じぶんでがんばること』</p>
	<p>③こんな「おてつだい」「サポート」「かんきょう」が あるとできそう・わかりそう</p> <p>『まわりに てつだってもらうこと』</p>

R5高就連研修会より
ご本人へのインタビュー動画(抜粋)

【4分間】



※別紙:教育的ニーズの視点によるシートで整理

